

Q 面接試験ではどんなことを質問されますか？（図書館司書編）

司書職を目指す受験生のみなさんにしっかり考えておいてほしいことは？

- どんな図書館で働きたいか、ということはまず明確にしておきましょう。

まちの図書館（公共図書館）

学校図書館

大学図書館・・・

- 「なぜ司書を目指そうと思ったのか？」→「小さいころこんなことがあって・・・」というのは素敵なエピソードですが、その部分は人それぞれなので評価では重視されません。
- 面接試験で重視されるのは図書館・司書職への理解の深さ＝志望動機の深さ。

志望動機はどう深めればいいのか？

① 図書館・司書という専門職はなぜ社会に必要なのか、その社会的意義を理解しているか？

⇒ 図書館にある本を調べる＋学校図書館で働いている司書の先生に聞いてみる

② その社会的意義に魅力を感じるか？ 魅力を感じる図書館の仕事・働きはあるか？

⇒ 図書館が好きな人が全員司書になる必要はありません。特に感じるものがなければその人は司書ではなく、利用者として図書館に付き合う人生もあります。

③ 「司書になりたい」だけでなく、なるためにいまどんな努力をしているか？

⇒ 自分の目で見て考える・感じる、司書になるにはどんな試験があるのかを調べる、今どんな勉強が自分に必要かを知ること大切。

そして...他の仕事・将来目標を立てている人も
共通する部分はあるかも！

① その仕事はなぜ社会に必要なのか、その社会的意義を理解しているか？

⇒図書館にある本を調べる＋身近で働いている方に聞いてみる。

② その社会的意義に魅力を感じるか？ 魅力を感じる仕事・働きはあるか？

⇒その仕事が好きなのが全員その仕事に就く必要はありません。

③ 「●●になりたい」だけでなく、なるためにいまどんな努力をしているか？

⇒自分の目で見て考える・感じる、司書になるにはどんな試験があるのかを調べる、今どんな勉強が自分に必要かを知ること大切。